

一般公開シンポジウム

『もの』からみる 人間の 文化と社会



2007 9/29 (土)
杉並公会堂 小ホール

参加
無料

主催：日本文化人類学会

『もの』からみる人間の文化と社会

文化とは何か？

人間とは？

難しい議論から入る代わりに、

「もの」を切り口にそこに見える人間関係、

社会のしくみを探り、文化とは何かという問いに迫ります。

3人の講演者たちの導くまま、

世界各地の文化や社会に思いを馳せましょう。



加藤泰建 埼玉大学教養学部教授

『南米古代アンデス文明の遺産』

アンデスの遺跡から出土する遺物は、古代アンデスの人々がどのような文化をもち、どのような社会をもっていたか、そしてどのような生活を送っていたかを語ってくれる。

上橋菜穂子 川村学園女子大学人間文化学部准教授

『観光と文化—オーストラリア先住民の土産物』

オーストラリア先住民観光の土産物のブーメランと本物のブーメランはどこが違うのか、そしてそれはいったい何を意味するのだろうか。先住民社会の変化と再生を語る。

湖中真哉 静岡県立大学国際関係学部准教授

『捨てられた『もの』のゆくえ —ケニア・サンプルの廃物資源利用』

廃物資源の利用法を通じて、サンプル人のものの見方、ものとの距離の置き方、ものへの愛着を検討することで、サンプル人のしたたかさを考察する。

司会・進行係：**山本真鳥** 法政大学経済学部教授



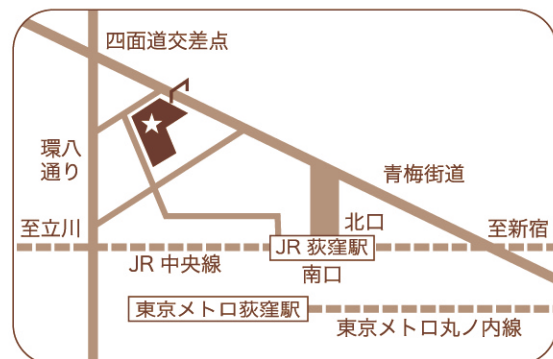
2007 **9/29** (土) 18:30 ~ 21:10 (18:10 開場)

場所：**杉並公会堂小ホール**

参加対象：高校生・大学生・成人一般

***参加無料**

問合せ先
日本文化人類学会事務局
tel. 03-5232-0920
mail. hoya@jasca.org



杉並公会堂小ホール

杉並区上荻 1-23-15 TEL: 03-3220-0401

JR 中央線・東京メトロ丸ノ内線荻窪駅北口から 徒歩 7 分